

ワイドスターⅢ ソフトウェア更新手順書

可搬型端末・設置型端末
屋外設置アンテナ・追尾アンテナ
共通



2026年10月14日（Ver2606）
NTTドコモビジネス株式会社

変更履歴

日付	対象SW	変更内容
2026年10月14日	Ver2606	初版

はじめに | 注意事項

つながろう。驚きを。幸せを。



全機器共通

- ソフトウェア更新を誤ると、動作不良やデータ消失の恐れがあります。必ず手順に従って実施してください。
作業中、少しでも不安になった場合は、本手順書の最終ページに記載のお問い合わせ先へご連絡ください。
- ワイドスターⅢ 衛星端末およびオプション品は、本手順書に記載の**作業順序および対象ソフトウェアファイルの組み合わせ**に従って更新してください。
記載と異なるファイルの組み合わせで使用した場合、正常に動作しない、または動作保証の対象外となります。
- PC・衛星端末ともに、**必ず外部電源に接続**してください。また、更新中は電源を切らないでください。
- ソフトウェアの更新中、衛星電話のサービスは停止されます。

可搬型端末・設置型端末共通

- ソフトウェア更新は、衛星端末本体 [AP] → 衛星端末本体 [CP] → ハンドセット の順に実施してください。
順番を誤ると、ハンドセットが起動不能となる恐れがあります。
- ハンドセットは更新作業中に合計2回自動再起動します。これは正常な挙動です。

可搬型端末

- 電池パックのみでの更新はできません。

屋外設置アンテナ・追尾アンテナ共通

- 端末のソフトウェア更新を完了させてから実施してください。

はじめに | 関連資料

作業手順動画のご案内

本手順書の内容に沿った作業手順動画をご用意しています。

必要に応じて、本手順書とあわせてご確認ください。

- [可搬型端末・設置型端末・ハンドセットのソフトウェア更新](#)
- [ユーザーデータ エクスポート/インポート、端末初期化](#)
- [屋外設置アンテナの更新](#)
- [追尾アンテナの更新](#)

はじめに | 全体の流れ

機器構成によって必要な作業が異なります。また、ファイルの更新には順番があります。

Ver2606へ更新するために必要な作業項目と実施順序を確認してください。

	STEP1	STEP2	STEP3-1	STEP3-2	STEP4	STEP5	STEP6	STEP7
	事前準備	ユーザーデータ エクスポート	端末（AP） 更新	端末（CP） 更新	ハンドセット 更新	屋外設置 アンテナ 更新	追尾 アンテナ 更新	ユーザーデータ インポート
可搬型端末のみ	 必須	 任意	 必須 可搬型・設置型 共通ファイル	 必須 可搬型・設置型 共通ファイル	 必須	不要	不要	 任意
可搬型端末 屋外設置アンテナ						 必須	不要	
設置型端末 屋外設置アンテナ						必須	不要	
設置型端末 追尾アンテナ						不要	 条件あり V9以外は更新	

条件あり：更新前のバージョンが「V9」以外は、新しいバージョンへの更新が必要です。STEP6で説明します。

STEP1 | 事前準備

1. Windows PCとLANケーブルを用意する

対応PC

- LANポートを備えたWindowsパソコン

対応OS

- Windows 10、11

対応ブラウザ

- Microsoft Edge
- Chrome

※ 2023年8月以降のブラウザをご利用ください。

STEP1 | 事前準備

2. ソフトウェアVer2606をPCにダウンロードする

 [お客さまサポートサイト](#)

Ver2606 ソフトウェア ファイル名

項目	ファイル名
端末（AP）	Jupiter-MSE-MST.5.1078.E.tar.gz
端末（CP）	4.2.3.0-LM[64278].tar.gz
ハンドセット	Jupiter-MSE-HS5.1.138.E.tar.gz
屋外設置アンテナ	Ext-Antenna-FW-1.12.tar.gz
追尾アンテナ	Jupiter-MSE-TA_SAC_SSB_SW_version_9_REN.tar.gz

※ ダウンロードしたソフトウェアファイルに、セキュリティソフト等による保護・制限がかかっている場合は、事前に解除してください。
保護・制限がかかったままの場合、ソフトウェアをインストールできません。

STEP1 | 事前準備

3. PCと衛星端末をLANケーブルで接続する
4. PC・衛星端末ともに、**必ず外部電源に接続**する
5. PC・衛星端末・ハンドセットの順番で電源をONする

💡 アンテナのソフトウェアは衛星端末経由でインストールされます
更新のために接続を変更する必要はありません



Windows PC

LANケーブル



可搬型端末

可搬型端末の端子 LAN | HS | TEL



設置型端末

設置型端末の端子 HS | LAN | TEL A | TEL B

同軸ケーブル (既設)



屋外設置アンテナ



追尾アンテナ

⚙️ 設置型端末用ACアダプタをご利用の方は、
設置型端末のモードをCARから**SHIP**へ変更してください

STEP1 | 事前準備

6. PCのWi-Fiを切断する
7. Webブラウザを起動する
8. 衛星電話管理ツールにログインする
アドレス : **http://192.168.0.1/setting**
ID : **admin**
パスワード : **admin1234**

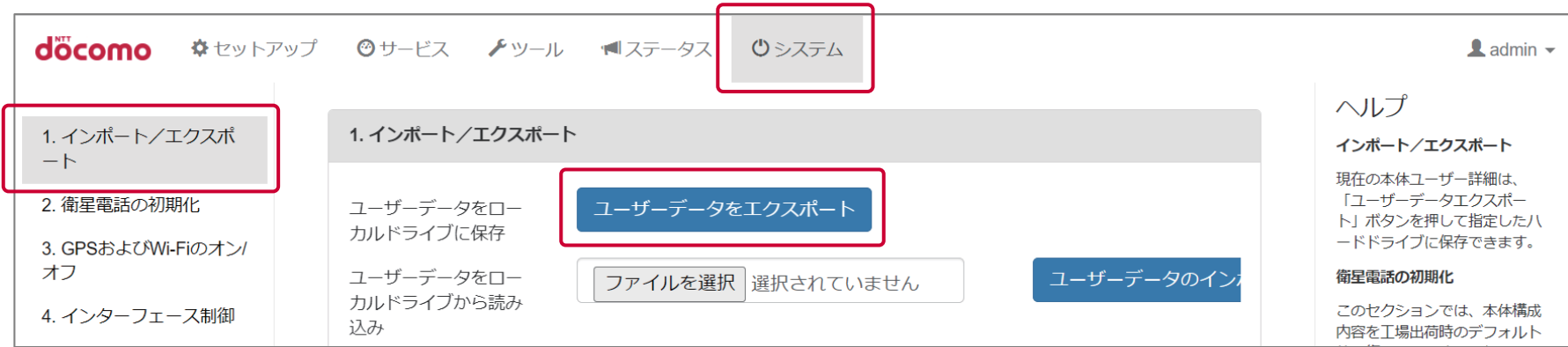
※ログインできない場合は、[192.168.2.1]をお試してください。
また、本手順書のトラブルシューティングをご確認ください。



STEP2 | ユーザーデータ エクスポート（任意）

衛星端末の設定データやSMS受信データなど

1. 衛星電話管理ツール [システム] ▶ [1. インポート/エクスポート] を選択する



2. [ユーザーデータをエクスポート] ボタンをクリックする
3. ユーザーデータ用のパスワードを入力 ▶ 確認のため再度パスワードを入力 ▶ [設定] をクリック
※ パスワードは、任意の8桁の数字を設定してください。
※ 設定したパスワードは、ソフトウェア更新後にユーザーデータをインポートする際に必要です。
忘れないよう、必ず控えておいてください。
4. ブラウザやPCのセキュリティ設定により確認メッセージが表示された場合は、ファイル名を確認のうえ、ダウンロードを継続する
5. PCのダウンロードフォルダに [data.xml.enc] ファイルが保存されたことを確認する

STEP2 | ユーザーデータ エクスポート（任意）

データ使用制限

1. 衛星電話管理ツール [セッティング] ▶ [11.データ使用] ▶ [データ使用制限] の値を控える

Wi-Fiチャンネル

1. 可搬型端末のみ | 衛星電話管理ツール [サービス] ▶ [1.Wi-Fi] ▶ [チャンネル] の値を控える

電話帳

1. ハンドセットの待受画面で  ▶ [設定] ▶ [電話帳コピー] ▶ [電話帳をエクスポートする] を選択する
2. [パスワードなし] / [パスワード] ▶ 以降、画面の指示に従って操作する

※ エクスポートした電話帳データは衛星端末に保存されます。
また、ソフトウェア更新作業によって消去されることはありません。

STEP3～6 | ソフトウェア更新 共通画面イメージ

STEP3-1～STEP6のソフトウェア更新は、すべて衛星電話管理ツールの「ツール」▶「1.ソフトウェア」画面で実施します。各STEPの手順に進む前に、画面の表示項目と操作箇所を確認してください。

The screenshot shows the '1. Software' management page in the NTT docomo Business portal. The page has a top navigation bar with 'ドコモ', 'セットアップ', 'サービス', 'ツール' (highlighted), 'ステータス', and 'システム'. A sidebar on the left contains '1. ソフトウェア' (highlighted) and '2. 衛星電話ログ'. The main content area is titled '1. ソフトウェア' and includes sections for 'ソフトウェアバージョン', 'MODEM', 'ハンドセット', and 'EA'. A right sidebar contains 'ヘルプ' and '衛星電話ログ'.

Annotations:

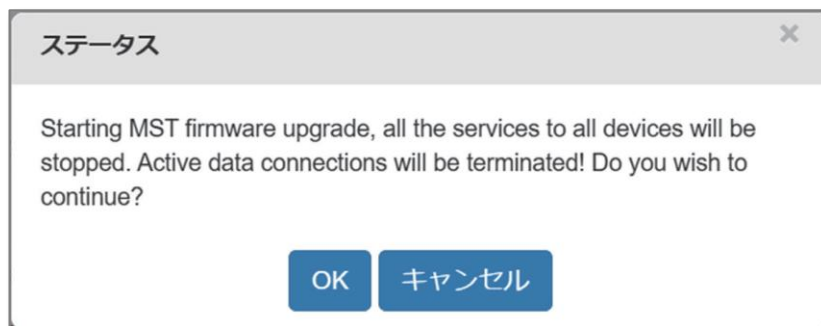
- ソフトウェアバージョン:** A red box highlights the current version, with a label '←APのバージョン'.
- MODEM:** A table with columns: Bootloader, Baseband Chip Name, Board Name, ソフトウェアバージョン, ソフトウェア更新日. A red box highlights the 'ソフトウェアバージョン' column, with a label '←CPのバージョン'.
- ハンドセット:** A table with columns: ID, ソフトウェアバージョン, ソフトウェア更新日. A red box highlights the 'ソフトウェアバージョン' column, with a label '←ハンドセットのバージョン'.
- EA:** A table with columns: ID, ソフトウェアバージョン, ソフトウェア更新日. A red box highlights the 'ソフトウェアバージョン' column, with a label '←アンテナのバージョン'.
- ソフトウェア更新:** A section titled '(1) ソフトウェア更新' with instructions: 'ソフトウェア更新ファイルを選択し、「ソフトウェア更新」ボタンを押してください。' Below this, a 'ソフトウェア更新ファイル' section contains a 'ファイルを選択' button (highlighted) and a 'ソフトウェア更新' button (highlighted).
- 接続している場合に表示:** A red box contains the text 'EA: 屋外設置アンテナ' and 'TA: 追尾アンテナ'.

File Explorer (Bottom Left): A screenshot of a Windows File Explorer window showing the directory 'wa2tracking_antenna_update_files_250124'. It contains two files: 'wa2tracking_antenna_v8.tar.gz' and 'wa2tracking_antenna_v8.tar.gz', both dated 2024/03/15 (水) 11:02.

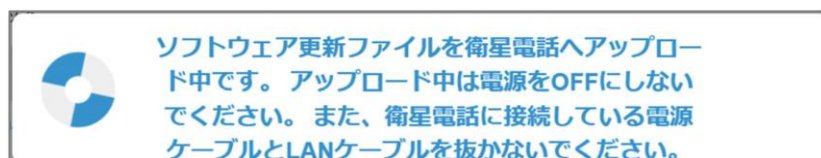
STEP3～6 | ソフトウェア更新 共通画面イメージ

つながろう。驚きを。幸せを。

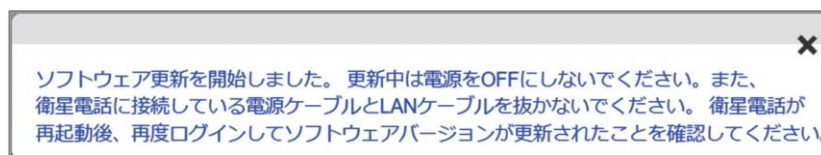
 NTT docomo Business



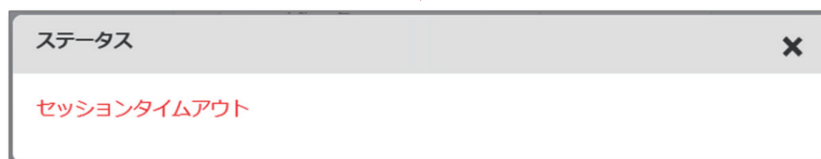
更新中は衛星電話のサービスが停止することをご案内するメッセージ



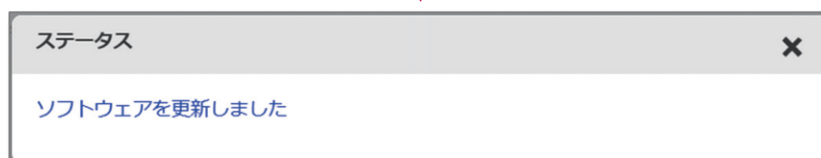
ソフトウェアファイルアップロード中
端末のランプが点滅



ソフトウェア更新中
端末のランプが点滅



15分以上待機を続けた際に表示
問題ありませんので、衛星電話管理ツールに再ログインしてください



衛星電話管理ツールに再ログインした際に表示
表示の有無にかかわらず、衛星電話管理ツールに表示されているバージョンを確認してください

STEP3-1 | 端末（AP）更新

つながろう。驚きを。幸せを。

 docomo Business

 画面イメージは「STEP3～6 | ソフトウェア更新共通画面イメージ」を参照してください

1. 衛星電話管理ツール [ツール] ▶ [1.ソフトウェア] を選択する
2. [(1) ソフトウェア更新] にて [ファイルの選択] ボタンをクリックする
3. APのファイル [**Jupiter-MSE-MST.5.1078.E.tar.gz**] を選択する
4. [ソフトウェア更新] ボタンをクリックする
5. [ステータス] ポップアップウィンドウを [OK] で閉じる
※ 更新中は衛星電話のサービスが停止することをご案内するメッセージです
6. ファイルアップロード中のメッセージが表示される
7. ソフトウェア更新中のメッセージが表示される
※ 更新中（**5分程度**）は、**衛星端末のランプが点滅**します
8. 点滅が完全に停止したことを確認する
※ 15分以上待機を続けると [セッションタイムアウト] を表示します
問題ありませんので、次の手順へ進んでください
9. Webブラウザを再読み込みし、衛星電話管理ツールへ再ログインする
10. [ツール] ▶ [1.ソフトウェア] を選択する
11. [ソフトウェアバージョン] の項目に [**Jupiter-MSE-MST.5.1078.E**] が表示されていることを確認する

STEP3-2 | 端末（CP）更新

つながろう。驚きを。幸せを。

 NTT docomo Business

 画面イメージは「STEP3～6 | ソフトウェア更新共通画面イメージ」を参照してください

1. 衛星電話管理ツール [ツール] ▶ [1.ソフトウェア] を選択する
2. [(1) ソフトウェア更新] にて [ファイルの選択] ボタンをクリックする
3. CPのファイル [4.2.3.0-LM [64278].tar.gz] を選択する
4. [ソフトウェア更新] ボタンをクリックする
5. [ステータス] ポップアップウィンドウを [OK] で閉じる
※ 更新中は衛星電話のサービスが停止することをご案内するメッセージです
6. ファイルアップロード中のメッセージが表示される
7. ソフトウェア更新中のメッセージが表示される
※ 更新中（5分程度）は、衛星端末のランプが点滅します
8. 点滅が完全に停止したことを確認する
※ 15分以上待機を続けると [セッションタイムアウト] を表示します
問題ありませんので、次の手順へ進んでください
9. Webブラウザを再読み込みし、衛星電話管理ツールへ再ログインする
10. [ツール] ▶ [1.ソフトウェア] を選択する
11. [MODEM] の項目に [4.2.3.0-LM[64278]] が表示されていることを確認する

STEP4 | ハンドセット更新

つながろう。驚きを。幸せを。

 NTT docomo Business

1. 衛星電話管理ツール [ツール] ▶ [1.ソフトウェア] を選択する
2. [(1) ソフトウェア更新] にて [ファイルの選択] ボタンをクリックする
3. ハンドセットのファイル [**Jupiter-MSE-HS5.1.138.E.tar.gz**] を選択する
4. [ソフトウェア更新] ボタンをクリックする
5. [ステータス] ポップアップウィンドウを [OK] で閉じる
※ 更新中は衛星電話のサービスが停止することをご案内するメッセージです
6. ファイルアップロード中のメッセージが表示される
7. ソフトウェア更新中のメッセージが表示される
※ 更新中 (**5分程度**) は、**衛星端末のランプが点滅**します
8. 点滅が完全に停止したことを確認する
9. Webブラウザを再読み込みし、衛星電話管理ツールへ再ログインする
10. [ツール] ▶ [1.ソフトウェア] を選択する
11. [ハンドセット] の項目に [**Jupiter-MSE-HS5.1.138.E**] が表示されていることを確認する

 画面イメージは「STEP3～6 | ソフトウェア更新共通画面イメージ」を参照してください

STEP5 | 屋外設置アンテナ更新

つながろう。驚きを。幸せを。

 **docomo Business**

屋外設置アンテナのソフトウェアは衛星端末経由でインストールされます
衛星端末と屋外設置アンテナが同軸ケーブルで接続された状態で更新してください

 画面イメージは「STEP3～6 | ソフトウェア更新共通画面イメージ」を参照してください

1. 衛星電話管理ツール [ツール] ▶ [1.ソフトウェア] を選択する
2. [(1) ソフトウェア更新] にて [ファイルの選択] ボタンをクリックする
3. 屋外設置アンテナのファイル [Ext-Antenna-FW-1.12.tar.gz] を選択する
4. [ソフトウェア更新] ボタンをクリックする
5. [ステータス] ポップアップウィンドウを [OK] で閉じる
※ 更新中は衛星電話のサービスが停止することをご案内するメッセージです
6. ファイルアップロード中のメッセージが表示される
7. ソフトウェア更新中のメッセージが表示される
※ 更新中 (**10分程度**) は、**衛星端末のランプが点滅**します
8. 点滅が完全に停止したことを確認する
9. Webブラウザを再読み込みし、衛星電話管理ツールへ再ログインする
10. [ツール] ▶ [1.ソフトウェア] を選択する
11. [EA] の項目に [EAN-1.12] が表示されていることを確認する

STEP6 | 追尾アンテナ更新（条件あり）

つながろう。驚きを。幸せを。

 **docomo Business**

追尾アンテナのソフトウェアは衛星端末経由でインストールされます

衛星端末と追尾アンテナが同軸ケーブルで接続された状態で更新してください

 画面イメージは「STEP3～6 | ソフトウェア更新共通画面イメージ」を参照してください

1. 衛星電話管理ツール [ツール] ▶ [1.ソフトウェア] を選択する
2. **作業要否の条件** [TA] の項目で更新前のバージョンを確認する
[TA] の項目に [9] を表示している場合：最新バージョンがインストールされています。以下の手順は不要です。
[TA] の項目に [9] 以外を表示している場合：新しいバージョンへの更新が必要です。以下手順を進めてください。
3. [(1) ソフトウェア更新] にて [ファイルの選択] ボタンをクリックする
4. 追尾アンテナのファイル [Jupiter-MSE-TA_SAC_SSB_SW_version_9_REN.tar.gz] を選択する
5. [ソフトウェア更新] ボタンをクリックする
6. [ステータス] ポップアップウィンドウを [OK] で閉じる
※ 更新中は衛星電話のサービスが停止することをご案内するメッセージです
7. ファイルアップロード中のメッセージが表示される
8. ソフトウェア更新中のメッセージが表示される
※ 更新中（**30分程度**）は、**衛星端末のランプが点滅**します
9. 点滅が完全に停止したことを確認する

STEP6 | 追尾アンテナ更新（条件あり）

10. Webブラウザを再読み込みし、衛星電話管理ツールへ再ログインする
11. [ツール] ▶ [1.ソフトウェア] を選択する
12. [TA] の項目に [9] が表示されていることを確認する

STEP7 | ユーザーデータ インポート（任意）

衛星端末の設定データやSMS受信データなど

1. 衛星電話管理ツール [システム] ▶ [1.インポート/エクスポート] を選択する



2. [ファイルを選択] をクリックする
 3. PCのダウンロードフォルダにてSTEP2でエクスポートした [data.xml.enc] ファイルを選択し、[OK] ボタンをクリックする
 4. 衛星電話管理ツール [ユーザーデータのインポート] ボタン ▶ [OK] ボタンをクリックする
 5. エクスポートの際に設定されたパスワードを入力 ▶ [OK] ボタンをクリックする
 6. 「バージョンの異なるデータをインポートしますが、続けますか？」のメッセージに [はい] を選択する
- ※ インポートが完了すると衛星端末が再起動します

STEP7 | ユーザーデータ インポート（任意）

データ使用制限

1. 衛星電話管理ツール [セッティング] ▶ [11.データ使用] ▶ [データ使用制限] の値を変更する
変更前：0
変更後：STEP2で控えた値

Wi-Fiチャンネル

1. 可搬型端末のみ | 衛星電話管理ツール [サービス] ▶ [1.Wi-Fi] ▶ [チャンネル] の値を変更する
変更前：100
変更後：STEP2で控えた値

電話帳

1. ハンドセットの待受画面で  ▶ [設定] ▶ [電話帳コピー] ▶ [電話帳をインポートする] を選択する
2. （インポート）▶ 以降、画面の指示に従って操作
3. 「電話帳コピーのデータを削除しますが、続けますか？」のメッセージに [はい] を選択する

ソフトウェア更新作業 完了です

衛星端末のランプの状態
通話やデータ通信ができることを
確認してください



トラブルシューティング

トラブルシューティング

つながろう。驚きを。幸せを。



No	質問	回答
1	- 衛星端末の電源が入らない - ハンドセットの電源が入らない - ハンドセットが起動中のまま動作しない	以下の順序で、衛星端末とハンドセットを再起動します。 1. ハンドセット→衛星端末の順番で電源スイッチをOFF 2. ACアダプタ、および電池パック（可搬端末のみ）の抜き差し 3. 衛星端末よりハンドセットの抜き差し 4. 衛星端末→ハンドセットの順番で電源スイッチをON ※ソフトウェア更新の順番（AP→CP→ハンドセット）を誤ると、ハンドセットが故障し、動作しなくなることがあります。この場合、有償での修理交換となります。
2	ハンドセットに以下のメッセージを表示している 「SIMカードが挿入されていません」 「SIMカードを読み込んでいます」	<u>Pattern1 : 可搬型 / 設置型端末 + 屋外設置 / 追尾アンテナ バージョンアップ後</u> <u>Pattern2 : 可搬型端末単体 バージョンアップ後</u> SIMは正しく挿入できていますか？以下の順序でSIMを差し直してください。 1. ハンドセット→衛星端末の順番で電源スイッチをOFF 2. 衛星端末より、SIMの挿入方向に注意し、SIMを抜き差し 3. 衛星端末→ハンドセットの順番で電源スイッチをON <u>Pattern3 : 可搬端末単体 バージョンアップ中</u> アンテナ面を閉じている場合に表示されます。 表示されたままで問題ありませんので、そのまま作業を続けてください。

No	質問	回答
3	管理ツール画面に「このサイトにアクセスできません」と表示され、管理ツールへログインできない	PCのイーサネットポートの設定に不備がある可能性があります。以下を確認してください。 ① デバイスマネージャーを開く 1. PCで「デバイス マネージャー」を開く 2. [ネットワーク アダプター] をクリック 3. [イーサネットアダプタ] を右クリックし、[プロパティ] を選択 ② 省電力の設定をオフにする 1. [詳細設定] タブをクリック 2. [Energy-Efficient Ethernet (省電力イーサネット)] を選択 3. 設定を[無効] または [オフ] に変更 ③ 通信速度の設定を確認する 1. [速度とデュプレックス] を選択 2. [自動認識] に設定 3. [OK] をクリック
4	管理ツール画面に「このサイトにアクセスできません」と表示され、管理ツールへログインできない	PCのIPアドレスに不備がある可能性があります。以下を確認してください。 ① IPアドレスの設定を確認する 1. [設定] を開く 2. [ネットワークとインターネット] をクリック 3. [プロパティ] を開く 4. [IP割り当て] を [自動 (DHCP)] に変更 ② 再起動する 1. PCと衛星端末を再起動 2. 管理ツールに再ログイン

No	質問	回答
5	管理ツール画面に「このサイトにアクセスできません」と表示され、管理ツールへログインできない	衛星端末のIPアドレスがデフォルト値から変更されている可能性があります。以下を確認してください。 ① コマンド画面を開く 1. キーボードの「Windows」キーと「R」キーを同時に押下 2. 小さな画面が出たら「cmd」と入力し「Enter」キーを押下 ② ネットワーク情報を確認する 1. 黒い画面（コマンドプロンプト）が開く 2. 「ipconfig」と入力して「Enter」を押下 3. 表示された中から「デフォルト ゲートウェイ」を探す ③ 管理ツールにアクセスする 1. 見つけたアドレスを使ってログインする 例：「192.168.0.1」の場合：http://192.168.0.1/setting/ 「192.168.0.2」など別の数字の場合：http://（表示されたアドレス）/setting/ ④ IPアドレスを確認する(③で管理ツールにアクセスできない場合) 1. ②で開いた黒い画面（コマンドプロンプト）で、「arp -a」と入力し、「Enter」キーを押下 2. 表示された一覧の「左側のIPアドレス」を確認 ←これが衛星端末の候補になります

```
C:\Users\admin>arp -a
インターフェイス: 192.168.0.60 --- 0x2
インターネット アドレス 物理アドレス 種類
192.168.0.1 00-1d-5c-50-6c-f2 重加的
192.168.0.50 ec-21-e5-47-e8-49 重加的
192.168.0.255 ff-ff-ff-ff-ff-ff 静的
224.0.0.22 01-00-5e-00-00-16 静的
224.0.0.251 01-00-5e-00-00-fb 静的
224.0.0.252 01-00-5e-00-00-fc 静的
239.255.255.250 01-00-5e-7f-ff-fa 静的
```

④の画面例
192.168.0.1、192.168.0.50
が衛星端末の候補

トラブルシューティング

つながり。驚きを。幸せを。



No	質問	回答
6	管理ツール画面に「ソフトウェア更新を開始しました」と表示された後、各STEPの更新目安時間を過ぎても「ソフトウェアを更新しました」のメッセージに切り替わらない	衛星電話管理ツールに再ログインし、バージョンや日付を確認してください。 古いバージョンが表示されている場合は、再度、ソフトウェア更新を実施してください。
7	ファイルをアップロードしたが、管理ツール画面に更新前のバージョンや日付が表示されている	管理ツールに再ログインし、バージョンや日付を確認します。 古いバージョンが表示されている場合は、再度、ソフトウェア更新を実施してください。
8	管理ツール画面に「更新に失敗しました」と表示される	サイトからダウンロードしたソフトウェアを別のPCにコピーするときに、ダウンロードしたファイルの暗号化を解除しましたか？ ダウンロードしたファイルの暗号化を解除後、再度、ソフトウェア更新を実施してください。
9	管理ツール画面に「本体のファームウェア更新に失敗しました 本体電源ケーブルに接続してください」と表示される	衛星端末にACアダプタ等を接続し、電源供給をしてください。
10	問い合わせ先へ連絡したところ、端末の初期化を指示された	以下の手順で衛星端末を初期化(工場出荷時に戻す)します。 1. 初期化を実施する前に、バックアップファイル「data.xml.enc」がPCに保存されていることを確認 2. 管理ツールを開き、[システム] ▶ [2.衛星電話の初期化] を選択 3. [衛星電話の初期化] にて [OK] にて、端末が再起動する 4. 再度、ソフトウェア更新を実施 ※たとえば、APの更新が正常に完了しており、CPの更新のみエラーとなった場合は、 APの更新を再実施する必要はありません。CPの更新から再開できます。 ※ハンドセットの設定メニュー操作や、端末のRESETボタンを押すことでも初期化が可能です。

トラブルシューティング

トラブルシューティングを実施しても問題が解決しない場合は、
ドコモワイドスターコールセンターへお問い合わせください。

ドコモワイドスターコールセンター

0120-616-360

付録

ソフトウェアバージョン互換表

ワイドスターⅢ衛星端末とオプション品は、必ずソフトウェアバージョン互換表を参考に、**互換性のある組み合わせでご使用ください。**
互換性が確認できないバージョンの組み合わせでは、動作保証の対象外となります。

互換性のある組み合わせ

バージョン	SAS52.3	SAS52.10	SAS52.17	SAS52.18	SAS53.1	SAS53.2	SAS53.3	Ver2510	Ver2511	Ver2606
リリース日	2023/10/11	2024/6/5	2024/11/19	2024/11/20	2025/4/25	2025/4/25	2025/6/25	2025/10/10	2025/11/21	2026/6/19
可搬・設置型 端末(AP)	Jupiter-MSE-MST.4.1084.E	Jupiter-MSE-MST.4.1128.E	Jupiter-MSE-MST.4.1180.E	Jupiter-MSE-MST.4.1196.E	Jupiter-MSE-MST.5.1008.E	Jupiter-MSE-MST.5.1014.E	Jupiter-MSE-MST.5.1014.E	Jupiter-MSE-MST.5.1014.E	Jupiter-MSE-MST.5.1049.E	Jupiter-MSE-MST.5.1078.E
可搬・設置型 端末(CP)	4.2.3.0-LM [59798]	4.2.3.0-LM [61080]	4.2.3.0-LM [62066]	4.2.3.0-LM [62066]	4.2.3.0-LM [62839]	4.2.3.0-LM [62958]	4.2.3.0-LM [62958]	4.2.3.0-LM [63508]	4.2.3.0-LM [63508]	4.2.3.0-LM [64278]
ハンドセット	Jupiter-MSE-HS4.1.184.E	Jupiter-MSE-HS4.1.220.E	Jupiter-MSE-HS4.1.244.E	Jupiter-MSE-HS4.1.244.E	Jupiter-MSE-HS5.1.104.E	Jupiter-MSE-HS5.1.110.E	Jupiter-MSE-HS5.1.122.E	Jupiter-MSE-HS5.1.122.E	Jupiter-MSE-HS5.1.122.E	Jupiter-MSE-HS5.1.138.E
屋外設置アンテナ	1.10	1.11 (1.10)	1.11 (1.10)	1.11 (1.10)	1.11 (1.10)	1.11 (1.10)	1.11 (1.10)	1.11 (1.10)	1.11 (1.10)	1.12
追尾アンテナ	V7	V7	v9	v9	V9	V9	V9	V9	V9	V9
備考				一部のお客さまに 提供	一部のお客さまに 提供	一部のお客さまに 提供	一部のお客さまに 提供			

知的財産権について

- 「ワイドスター」は、株式会社NTTドコモの商標または登録商標です。
- Microsoft®、Windows®は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

本件お問い合わせ先

ドコモ ワイドスターコールセンター

0120-616-360